







平成29年4月-6月期・東員町商工会 中小企業景況調査結果（建設業）

売上（収入）のD I値は、前年同期比が50.0、前期比が△25.0と対照的であるが、来期見通しは25.0と復調する見込みである。採算（経常利益）のD I値は、前年同期比が±0.0であるが、来期見通しは△25.0と悪化する見込みである。資金繰りのD I値は、前年同期比で25.0、前期比は±0.0と少し開きがある。来期見通しは好転するのではなく±0.0と横ばいを見込んでいる。業況のD I値は、前年同期で25.0、前期比は±0.0、来期見通しが25.0と好転していくと思われる。三重県商工会エリア全体のD I値と比較すると、売上（収入）の前期比と採算（経常利益）の来期見込みが低くなっているものの全体としては高く、東員町商工会エリアの建設業の景況感は三重県全域と比べると良い状態にあると思われる。

東員町商工会エリア	今期（29年4-6月期）の状況				来期（29年7-9月期）の状況		
	項目	前年同期（28年4-6月期）と比較		前期（29年1-3月期）と比較		前年同期（28年4-6月期）と比較	
		DI値	評価	DI値	評価	DI値	評価
売上（収入）	50.0	好転 快晴	-25.0	減少 雨	25.0	好転 快晴	
採算（経常利益）	±0.0	横ばい 曇り	--	--	-25.0	悪化 雨	
資金繰り	25.0	好転 快晴	±0.0	横ばい 曇り	±0.0	横ばい 曇り	
業況	25.0	好転 快晴	±0.0	横ばい 曇り	25.0	好転 快晴	

三重県商工会エリア	今期（29年4-6月期）の状況				来期（29年7-9月期）の状況		
	項目	前年同期（28年4-6月期）と比較		前期（29年1-3月期）と比較		前年同期（28年4-6月期）と比較	
		DI値	評価	DI値	評価	DI値	評価
売上（収入）	-39.2	大幅に減少 豪雨	-8.7	やや悪化 小雨	-34.8	減少 雨	
採算（経常利益）	-26.1	悪化 雨	--	--	-21.7	悪化 雨	
資金繰り	-4.4	横ばい 曇り	-4.3	横ばい 曇り	-17.4	やや悪化 小雨	
業況	-13.6	やや悪化 小雨	-14.3	やや悪化 小雨	-31.9	悪化 雨	

各項目の評価については次により表示した。

D・I値※	20.1～	5.1～20.0	5.0～△5.0	△5.1～ △20.0	△20.1～ △35.0	△35.1～
区分	増加 好転	やや増加 やや好転	横ばい	やや減少 やや悪化	減少 悪化	大幅に減少 非常に悪化
天気図表示	快晴 	晴れ 	曇り 	小雨 	雨 	豪雨 

※D I値は、増加・好転等の割合から減少・悪化等の割合を差し引いた値。

今期直面している経営上の課題については、重要度の高い1位に上がっているのが25.0%で「新規参入業者の増加」、「利用者ニーズの変化」、「従業員の確保難」、「熟練従業員の確保難」となっている。項目としては分散しているが、人材に関する項目が2項目あり、人手不足が大きな問題として認識されている。三重県全域と比べると、三重県全域では人材より需要の停滞が意識されており、問題点としての重要度にズレがある。なお、上位3項目を集計した表が下にあるが、「従業員の確保難」、「熟練従業員の確保難」に加えて、「大企業の進出による競争の激化」も、東員町商工会エリアでは重要課題として認識されている。

重要度1位の項目

(%)

東員町商工会エリア	1位					
1位にあげる問題点	新規参入業者の増加、利用者ニーズの変化、従業員の確保難、熟練従業員の確保難					
前期/今期	--			25.0		
三重県商工会エリア	1位		2位		3位	
1位にあげる問題点	官公需要の停滞		民間需要の停滞		請負単価の低下、上昇難、事業資金の借入難	
前期/今期	16.7	26.3	16.7	21.1	--	10.5

重要度1位～3位の項目の集計

東員町商工会エリア	1位		2位	
1位～3位に上がった問題点	従業員の確保難		大企業の進出による競争の激化、熟練従業員の確保難	
前期/今期	75.0		50.0	